

平成29年11月10日

記者説明会（11月16日10時・東広島）のご案内

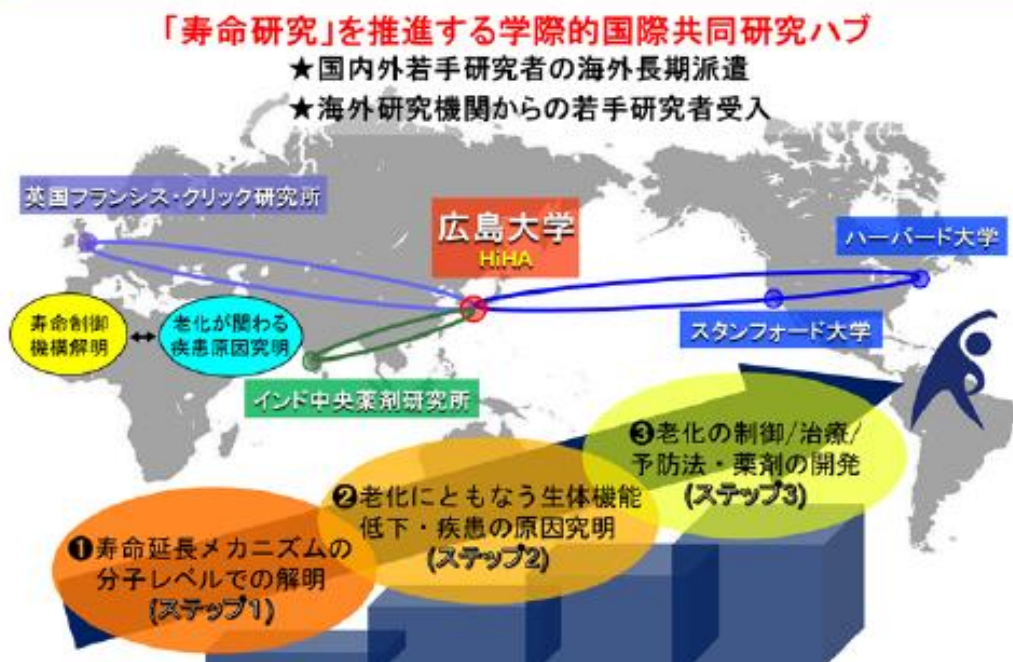
 平成29年度「頭脳循環を加速する
 戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に採択されました

文部科学省の平成29年度「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に、本学の申請したプログラムが採択されました。

採択された事業は、「寿命制御メカニズム解明を目指した国際共同研究ネットワークの構築」で、実施期間は平成29年度から3年間、総事業費は1億円程度です。

本事業において、広島大学は、寿命延長メカニズム解明の分野における世界トップレベルの研究機関である英国・フランス・クリック研究所（所長 Sir Paul Nurse 博士、2001年ノーベル生理学・医学賞受賞者）、世界大学ランキング上位を占める米国ハーバード大学、米国スタンフォード大学、薬剤研究でアジアトップの研究機構インド国立中央薬剤研究所との新たな国際研究ネットワークを構築します。

寿命制御メカニズム解明を目指した国際共同研究ネットワークの構築

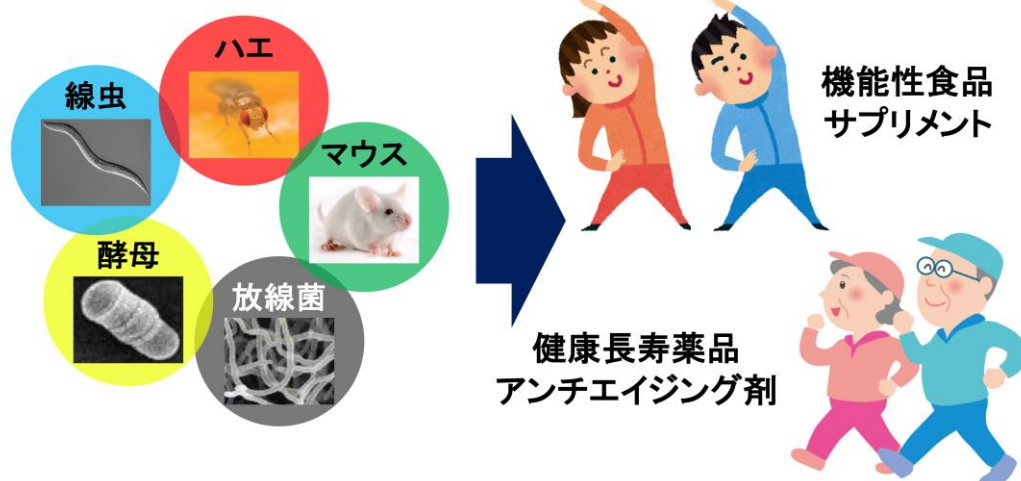


また、寿命延長メカニズムに関する基礎研究を広範に展開するため、広島大学の強みであるモデル生物（酵母・線虫・ハエ・マウス）を用いた寿命研究者を結集し、前述の欧米トップ研究機関との国際共同研究を行います。具体的には、マウスを用いた腸内細菌・免疫系による寿命制御の研究や、酵母及び線虫を用いた新規長寿遺伝子の同定や代謝産物-酸化ストレス耐性が関わる寿命延長メカニズムの究明などを行い、さらにその成果をアンチエイジング薬開発につなげることを目標とします。

寿命延長メカニズムの解明とその応用

モデル生物を用いた
寿命に関する基礎研究

研究成果に基づいた
老化予防法・薬剤の開発



健康的に老いる“健康寿命”の延長は、医療費の削減にも繋がる社会的にも要請の高い重要課題となっています。広島大学では、これまでも健康長寿研究拠点 (Hiroshima Research Center for Healthy Aging: HiHA) を設立し、全学的な研究支援を行ってきました。

本学では、今回の事業採択により、本拠点を起点とした国際共同研究ネットワークを構築し、寿命延長メカニズムに関する研究を発展させるとともに、世界に通用する若手研究者の育成を行います。

本事業採択につきまして、下記のとおり、記者説明会を開催しご説明いたします。ご多忙とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

日 時：平成29年11月16日（木） 10時 ～ 10時45分
場 所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟5階 5F2会議室
出席者：広島大学大学院先端物質科学研究科 特任教授 登田 隆、
教授 河本 正次、准教授 水沼 正樹

【採択事業に関するお問い合わせ先】

広島大学大学院先端物質科学研究科・健康長寿研究拠点
特任教授 登田 隆（とだ たかし）
TEL: 082-424-7868
E-mail: takashi-toda@hiroshima-u.ac.jp

【報道（記者説明会）に関するお問い合わせ先】

広島大学 財務・総務室広報部広報グループ
担当：坂本 晃一（さかもと こういち）
Tel: 082-424-6762 Fax: 082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

(別紙)

【FAX返信用紙】

Fax：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部広報グループ 行

記者説明会（11月16日10時・東広島）のご案内

平成29年度「頭脳循環を加速する
戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に採択されました

日時：平成29年11月16日（木） 10時 ～ 10時45分
場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟5階 5F2会議室
出席者：広島大学大学院先端物質科学研究科 特任教授 登田 隆、
教授 河本 正次、准教授 水沼 正樹

ご出席

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計 名)

電話番号 _____

※お手数ですが準備の都合上、出席予定の報道機関の方は上記にご記入頂き、
11月15日（水）17：00までにご連絡ください。

発信枚数：A4版3枚（本票含む）